

ピンクシャツデー

中園 直樹

二〇〇六年の日本では

いじめ自殺報道と自殺の連鎖が続いた

その十年ほど前にも同じことがあったのに

二〇〇七年のカナダでは

ピンクのシャツの男子生徒がいじめられた

それを知った上級生の男子生徒二人が

五十着ものピンクのシャツなどを買い

メールや掲示板で呼びかけた

翌日学校はピンクに染まり

学校からいじめが消えた

■ 詩の作者 ■

なかぞの・なおき

1974年2月19日大阪府生れ、宮崎県育ち。著書に小説『オルゴール』（文芸社／幻冬舎文庫）『星空マウス』『ピエロで行こう』『チョコレイトの夜』、中園直樹詩集『しんかい動物園』（視点社）、メッセージ本『たった一人でがんばっている君へ』（大和出版）、ほか。小学校から大学まで、自ら「いじめ」を体験した作者は、世界的いじめ反対運動「ピンクシャツデー」の普及に努めている。「詩人会議」所属。東京都中野区在住。

以降毎年二月最終週の水曜が

学校や職場にピンクの服を身につけて行く

ピンクシャツデーとしてカナダに定着

七十五カ国以上に広まった

子供たちから学んだ英語圏の人々は

人類共通のこの問題を何とかしよう

何よりも被害者の「命」を守るため

世界中に広めようとしている

二〇一一年時点の日本では

未だほとんど知られてないけれど……

希望は ある！

(アンソロジー詩集『命が危ない 311人詩集―いま共にふみだすために―』
榎コールサック社 2011年7月28日刊 所収)

▼表紙絵の作者▲



伊藤 守正
(いとう・もりまさ)

1923(大正12)年8月5日、東京・赤羽に生まれる。東京府立第五中学校を卒業し、1940(昭和15)年4月、東京美術学校工芸科凶案部に入學。1943(昭和18)年12月1日、学徒出陣で応召。甲府第六三部隊を経て、幹部候補生として宮崎西部第一三八部隊、長崎県野母半島飛行機監視哨隊に所属。1945(昭和20)年8月9日、長崎にて被爆する。復員後、1946(昭和21)年9月25日、結核で病死。享年23。